



市内5中学校の生徒による合唱隊。式典では「君が代」、エピローグでは「どじょっこふなっこ」などを歌いました

参加者の皆さんにインタビューしました

▽田中彩乃さん(合川東小学校6年)
式典アトラクションで「川」を表現する役を務めた彩乃さん。「思ったよりたくさんの人がいて緊張した。環境のことはふだんあまり気にかけなかったけれど、ごみをあまりださないうようにしたい」

▽高橋志成君(鷹巣中学校3年)
君が代、どじょっこふなっこなど3曲を歌った市内の中学生による合唱隊の1人。「2度と経験することがないので心をこめて歌った。出演できてとても光栄」

▽吉田澤君(阿仁合小学校6年)
式典アトラクションで大相撲の豪風といっしょに大漁旗を振る役を担当。部活は相撲部。「旗がきれいに広がるように振るのが難しかった。豪風関の手のひらはぶ厚かった。一緒に出演できて最高！」

▽笹代博也君(竜森小5年)
介添えて皇后陛下のお手植えを担当。皇后さまからは「何の木ですか。大きくなるといいですね」とお声をかけられ「カツラの木です」としっかりと説明した笹代君、「皇后さまといっしょに植えたカツラの木の成長が

楽しみ。時々見に来たい」

▽武田玲菜さん(竜森小4年)
天皇陛下のおしほりを担当。天皇陛下からは「緑の少年団はどんな活動をしていますか」「草刈はいつ頃しますか」とお声をかけられ、「木を植えたり草を刈ったりしています」「夏にします」と答えた武田さん。「お話しができてうれしかったけど、ドキドキした」

▽野宮健太君(鷹巣高校1年)
市内4高校、秋田市2高校で編成する音楽隊でトロンボーンを受け持った野宮君、両陛下の御着の際の曲や君が代など7曲を演奏。「最初は緊張したけれど、演奏しているうちに慣れてきた。一生の思い出になった」

▽森川寛子さん(鷹巣高校3年)
市内の4高校の生徒が植樹祭の運営や各種行事を提案する『北秋田4校高校生委員会』のメンバーの1人。この日は来場者へのパンフ配布などを担当。「皆さんに声をかけていただき、コミュニケーションできるのやりがいがある。(進路は、との問いに)進学ですが、いずれは自然の多い北秋田市に戻ってきたい」

▽笹淵真央さん(天王中学校3年)
潟上市の小中学校から2人ずつ選ばれた参加者の1人。「地球温暖化が進まないように、ふだんから電灯やエアコンをこまめに切るように心がけたい」

▽野呂輝美さん(55) 前山
天皇皇后両陛下のすぐ前で郷土芸能『前山奴踊り』を披露。「3度のリハ―サルはどの日も一日がかりだった。本番はあつという間に終わったが、参加できて感無量」

▽山崎厚志さん(77) 富山県
富山県の高岡地区森林組合の組合長を務める山崎さん。植樹祭にはこの10年で7回目の参加。「林業では後継者難が全国的に課題。森林や林業の大切さを若い人に知ってもらおうよう教育に力を入れてほしい」

▽佐藤詮さん(80) 東京都
東京都から参加。ふるさととは旧仙南村(現美郷町)。杉並秋田県人会会長を務める佐藤さん、「とても広い会場で驚いた。秋田はどこもふるさとのようで懐かしい。県人会にも案内があり初めての参加だったがとても良い思い出になった」



▲祭り体験ゾーンや環境テーマゾーンのほか、秋田の特産品を即売する物販コーナーが設けられたイベント広場



▲三世代記念植樹で参加した米内沢字中道岱の高橋直美さんは、妻のテル子さん、娘夫婦の吉田等さん・由美子さん夫妻、孫の利菜さん、翼くんの6人で参加。「天皇皇后両陛下の前で植樹できたことは一生の思い出。植えた苗は記念として大きく育ててほしい。家族が全員元気で暮らせるように願っている」と話していました。

また、孫の利菜さん(森吉中学校1年)は、「木が大きくなるのが楽しみ。植樹祭をきっかけに緑がふえてほしい」と話し、未来につながる自然豊かな北秋田市を思い描いていました

▶イベント会場には、胡桃館遺跡から出土した平安時代(約1100年前)の建物の土台「土居」を展示。古来から伝えられてきた秋田の木の文化の一端を紹介しました。会場への搬入作業(12日)では鷹巣農林高校の運動部員が助っ人として活躍



植樹会場で



大きな森に育つことを願って



植樹祭会場
カメラスケッチ



▲▼市内の郷土芸能が熱演で大歓迎



李岱駒踊り